

大王之	遠乃朝庭跡	蟻通	嶋門乎見者	神代之所念	万葉集 卷三 304 柿本人麻呂
大王の	遠の朝廷と	あり通ふ	嶋門を見れば	神代し思ほゆ	
おほきみの	とほのみかどと	ありかよふ	しまとをみれば	かみよしおもほゆ	
大王の	遠の朝廷と	行き来する	嶋門を見れば	神代が思い偲ばれる	